

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育

科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 3組

教科担当者：（1～3組：渋谷）（4・5組：柴崎）（6・7組：廣江）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（ ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付ける。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝える。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝える。

【学びに向かう力、人間性等】運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習に主体的に取り組もうとする。

科目 保健

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康の保持増進に必要な事柄について、健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けることができるようにする。	健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断できるようにする。	健康の保持増進に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・現代社会と健康 【知識及び技能】 ⇒健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒課題学習を取り入れることにより、現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒生涯にわたって、自らの健康を管理しようとする意欲を持つできるようにする。	・指導事項 ①健康の考え方と成り立ち ②私たちの健康のすがた ③生活習慣病の予防と回復 ④がんの原因と予防 ⑤がんの治療と回復 ⑥運動と健康 ⑦食事と健康 ⑧休養・睡眠と健康 ⑨喫煙と健康 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等 ⇒調べ学習	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身につけ、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動できる	○	○	○	9
	期末考査			○	○		1
2 学 期	・現代社会と健康 【知識及び技能】 ⇒健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒課題学習を取り入れることにより、現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒生涯にわたって、自らの健康を管理しようとする意欲を持つできるようにする。	・指導事項 ⑩飲酒と健康 ⑪薬物乱用と健康 ⑫精神疾患の特徴 ⑬精神疾患からの回復 ⑭現代の感染症 ⑮感染症の予防 ⑯性感染症・エイズとその予防 ⑰健康に関する意志決定 ⑱健康に関する環境づくり ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等 ⇒調べ学習	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身につけ、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動できる	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1
3 学 期	・安全な社会生活 【知識及び技能】 ⇒健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒課題学習を取り入れることにより、現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒生涯にわたって、自らの健康を管理しようとする意欲を持つできるようにする。	・指導事項 ①自己の現状と発生要因 ②安全な社会の形成 ③交通における安全 ④応急手当の意義とその基本 ⑤日常的な応急手当 ⑥心肺蘇生 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等 ⇒調べ学習	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身につけ、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動できる	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1